

[カー用品専科・月刊誌]

いまの狙い目はずばり、ココ!  
[カーグッズマガジン]



2022  
9

September  
定価 660 yen  
(税込)

2022年7月15日発売  
(毎月17日発売)

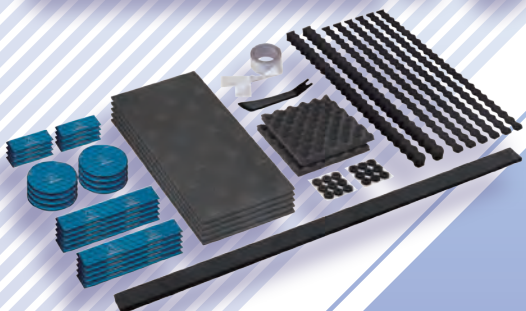
# Car Goods Magazine

www.cargoodsmagazine.co.jp

## 進化と拡充。旬のコンビネーション

特集 ▶ 音と映像を制御せよ!

### CarAV ADVANCE



# 欲しいものに すぐ 直送便!

[2022年・夏]  
主要銘柄セレクション

### EngineOil MASTER 型録



8月2日は **Pick Up**  
オートパーツの日!

### CarGear FRONTLINE



販売現場  
直送便!

ここでは、カーAVの音質ならびに車内の快適性を上げられる「デッドニング」アイテムをフィーチャーする。取り上げるのはオーディオテクニカの『AquieT(アクワイエ)シリーズ』の新作だ。各品の使用目的から効果までを、詳しく解説していく。

## デッドニングキット



「デッドニング」への関心が一層の高まりを見せている

昨今、「デッドニング」への関心が高まっている。その理由は2つある。1つはコロナ禍の巣ごもり需要もあり、お手軽なスピーカーへと交換するド

ライバーが増えているからだ。そしてその際に、ドア内部の音響的な環境を良好させる作業であるデッドニングもセットで行われることが増えている。つまり音を良くするためのメニューとしてこれの認知度が上がっている。

# 車内の静粛性も上げられる 音響マテリアルの新作降臨!

もう1つの理由は、車内静音への関心が高まっているからだ。クルマのエンジン音が静かになり（EVではエンジン音がせず、HVでも静かな時間帯が多い）、その他のノイズが気になるようになってきた。また燃費性能を上げるための車両軽量化やコストダウンが進み、鉄板が強度を保ちながらも薄くなりタイヤノイズや雨音や風切りが響きやすくなっている。結果、車内で「うるさい」と感じるドライバーが増え、その対策として「デッドニング」が有効であることもまた、一層浸透しつつある。

そうした流れを背景にこの度オーディオテクニカは、効果的に車内の音響コンディションを上げられる、そして効率的に車内を静かにできる『AquieT(アクワイエ)シリーズ』の新作を、計5アイテム発表した。

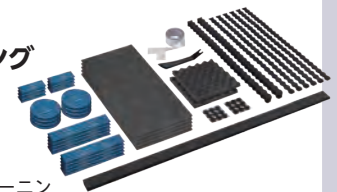
ちなみに「AquieT」は、「ドアチューニング」マテリアルのロングセラーシリーズだ。同社は「デッドニング」のことをあえて「ドアチューニング」と呼び、車内の音響的な不利要因への対処が可能な良質な部材をさまざまリリースし続けてきた。なおそれらは、車内静音化の部材としても活躍してきた。音響的に高い効果を上げられ

**機能と効果をアップさせ  
人気シリーズが一層進化!**

### ドア内部の音響チューニングをこれにてコンプリート!

Audio-Technica  
ドアチューニング  
キットプラス  
AT-AQ409

価格：2万4750円



同社既存のドアチューニングキットとは方向性の異なる新たなコンプリートキットが登場。まず制振材が新しい。制振部材と吸音部材とが組み合わせられ、高い制振/吸音効果も発揮する。アルミガラスクロステープも初めて入れられた。

### 適材適所に部材を使い分けられる!



ドアの音響的な条件を高めるための部材が、フロントドア2枚分たっぷり入れられている。制振材はアウター/インナーパネルへ施工しやすいようにカット済みのもも多々同梱。吸音・防音材も目的に合わせて使い分けられる。

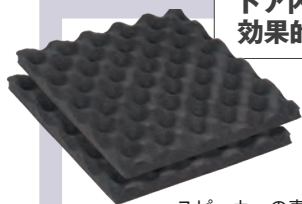
### ドアがスピーカーボックスに变身!



こちらはドア内部への施工イメージ(ちなみに施工方法の説明書も封入済み)。アルミガラスクロステープはサービスホールを塞ぐ際に使用する。防音材ではドアトリムのガタツキも抑制可能だ。



**ドア内部をビビらせる元凶を効果的に取り除くための新材！**



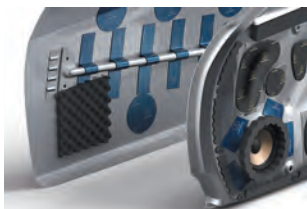
Audio-Technica  
**スピーカーコースター  
AT-AQ472**

価格：2530円

スピーカーの真裏に貼る、いわばスピーカーの“コースター”的な新吸音・制振材。スピーカーの裏側から放たれる音エネルギーは、ドア内部をビビらせる元凶となる。当部材ならそれを元から減衰可能だ。

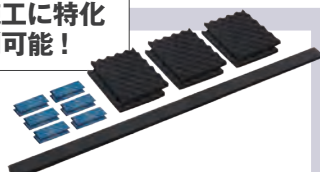


当品は、異なる部材が3つ重ねられてできている。表面がプロファイル加工された吸音材。その下に制振用アルミシートと、制振ブチルゴム層が存在する。



『AquieTシリーズ』ではこれまでもスピーカーの真裏に用いる部材をさまざま出してきたが、当品はいわばその決定版。まずはこれのみの施工でも音に効く。

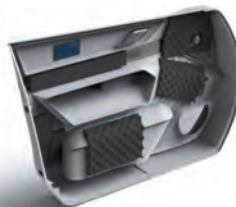
**内張りパネルへの施工に特化効果的に共振を抑制可能！**



Audio-Technica  
**ドアトリムチューニング  
スターターキット  
AT-AQ476**

価格：4620円

内容物は以下のとおり。吸音材(アブソブウェーブ)にてビビりの原因となる不要音を吸収し、別の吸音材(サウンドブルーフィングテープ)で外部からの不要音も吸収。制振材にて共振の抑制可能だ。



表面が波打っている部材が「アブソブウェーブ」。ちなみに当部材は、凹凸にプロファイル加工することで表面積が増やされていて、効果的に吸音を行える。



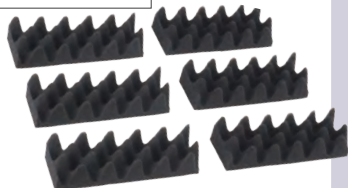
ドア内部をスピーカーボックスとして状態を良くしようと思ったら、内張りパネルへの施工も必須だ。当キットを使えばそれを完遂できる。まずはここから始めて、ドア内部の施工後に行っても良い。

**ピラーの静音化にも使える高機能吸音材が新登場！**

Audio-Technica  
**ダクトダンパー  
AT-AQ449**

価格：2200円

スポンジの高低差を大きくすることで表面積を増やし、吸音効果を増大。粘着剤が強力なことも特長。施工箇所の脱脂をしっかりと行えば、強力な粘着力で長期間効果を持続。



ピラーも、風切り音の侵入箇所となる。でも当アイテムを施工すればそれを抑制可能に。部材は突起が高いが、狭い場所には貼り付けた場合には容易に圧縮される。



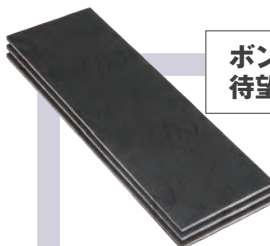
オーディオテクニカではかつてピラーに施工する吸音材をリリースしていたが、一時期ラインアップから外れていた。しかし、復活を求める声が大きく、当アイテムが新登場。

**ボンネットへの施工にも使える待望の遮音・吸音・制振材！**

Audio-Technica  
**サウンドインシュレーション  
シールド AT-AQ480**

価格：3740円

制振材とソフトゴムマットとの2層構造により、高い遮音効果を発揮する。粘着性が高く凹凸への追従性も良好なので、施工時には専門工具が不要だ(他のアイテムも同様)。



ところでボンネットも、雨や風圧で共振し異音を発する。当アイテムならそれへの対処も可能だ(ボンネットにインシュレーターが装着されている車種にのみ使用可能)。

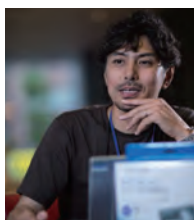
当アイテムは、車内静音化に幅広く使える。ボンネットはもちろんハッチバック、ドアの内張りパネルなどへの施工も可能だ。



るものほど、車内静音にも効くからだ。ゆえに車内静音に関心の高い層からも、『AquieTシリーズ』は常に注目を浴びてきた。

今回登場する各品も、音を良くする音響部材として、さらには車内静音化部材として高いポテンシャルを発揮する。いずれも素材と構造にこだわりが満載されているからだ。例えば、制振材に採用されているブチルゴムはありがちな再生素材ではなく純度の高い「ヴァージンブチルゴム」だ。ゆえに比重が高いのでピンポイントに使用して全体が重くなりすぎない。しかも耐熱性が高く高耐久だ。吸音材では形や弾力性が緻密に計算されていて、最大限の吸音効果が上げられる。同シリーズの部材は常に進化を繰り返してきたが、今回の新作でもそれが顕著だ。

愛車のサウンドクオリティを上げることと快適性を高めること、このどちらかにまたは両方に関心があるのなら、『AquieTシリーズ』の新作に要注目。



取材に対応してくれた、オーディオテクニカ国内営業部モーターサウンド課 主務の鈴木大輔さん。製品企画から販売までを担当。各品の長短を分かりやすく教えてくれた。